

■児童の学力の状況

「全国学力・学習状況調査の結果から、国語では、「文章に対する感想や意見を伝え合う」「文章のよいところを見付ける」等の力が比較的強く、算数では、「変化と関係」の正答率が低いことが分かった。文章を読み自分の意見や考えを端的にまとめて伝えたり、問題解決に向けて論理的に考え、ものの見方をしっかり身に付けたりする必要があると考える。

■授業革新推進に向けた、指導上の課題

- 意見交流の場面では、自分の考えを端的に述べたり相手の考えを要約して聞いたりする力を付けるための指導を工夫する必要がある。
- 対話を通じた主体的な学びを意図的・計画的に取り入れる。
- 自分の学びの振り返りを次につなげるための課題設定や問いを工夫する必要がある。
- 語彙力を高めるための指導を工夫する必要がある。

■学校経営方針より(学力向上に関わる内容から)

- 「授業スタンダード」に基づき、授業革新を推進する。
- 外国語教育の充実とICTの活用を図る。
- 基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る授業を実施する。
- 「成増スタンダード」を徹底し、学習規律の定着を図る。
- 指導計画、評価計画に基づいた適正な教育課程を実施する。
- 語彙力を高め、読み解く力や表現力の基礎を作る。
- 「hyper-QU」や「ふれあい月間アンケート」の活用により学級集団の状況を把握し、学力向上の基盤となる望ましい集団をつくる。
- ICT機器や思考ツールを活用する。
- 成増OJTを推進し、教師間で日常の学び合いを図る。
- コミュニティ・スクールとして、地域の教育資源を積極的に活用した授業を実施する。
- なりべんノート(自主学習)の定着を図ることで自主学習を習慣化し、意図的・計画的に成り教室(補充学習)を行うことにより基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る。

■授業革新推進に向けての具体的な方策

視点1	視点2	視点3
問題解決型・探究型の授業	協働学習の導入	指導と評価と支援の一体化
○「板橋区授業スタンダード」に基づいて一単位時間の学習の流れを設定し、めあてに沿った振り返りを行うことにより、自己評価力を高め、次に繋がられるようにする。	☆一人ひとりが自分の考えをもち、友達の考えを聞いたり話し合ったりすることを通して、自分の考えと比較し組み合わせながら、よりよい考えを創り出せるようにする。	○本時又は本単元で児童が身に付ける能力(ねらい)を明確に認識して授業を行い、机間指導等でポイントを絞った指導と評価、支援を行う。又、本時・本単元の指導目標に照らし合わせた児童の学習状況を把握する。

■いたばし学び支援プラン2025の実現に向けた取組

教員の指導力向上	ICT機器の活用	保護者・地域との連携・協働
○教職員の課題に応じ、全教員が様々な研修会に参加するとともに、日々の授業公開や専門性を生かした「成増OJT」を通して教員同士で学び合い、指導力の向上を図る。 ○板橋区教科等指導専門官の公開授業に参加し、指導力向上に努める。 ○「板橋区授業スタンダード」を徹底する。 ○いたばしの教育ビジョン研究奨励校として、ICTの活用、外国語教育の充実に努める。	○全学級で電子黒板を効果的に活用し、視覚的に理解を深めたり、児童の考えの共有化を図ったりする。 ○一人一台端末を活用し、話し合いの内容を共有したり、個に応じた課題に取り組んだりする。	○学校支援地域本部事業における地域人材による教育活動への支援を実施する。 ○「学びのエリア」で連携し、学力向上、ICT機器の系統的な活用、いじめ、不登校、中一ギャップ等の今日的な教育活動の解決を目指した活動を行う。 ○自主学習についてのねらいを保護者に伝え、自主学習の習慣の定着を図る。